

# STANFORD LINEAR ACCELERATOR CENTER

*Operated for the U.S. Department of Energy by Stanford University*



Mr. Tomohiko Yamamoto は2ヶ月ほど私の指導のもと SLAC に滞在いたしました。この間、Mr. Tomohiko Yamamoto は RF 超伝導材料における Quench 限界についての新規の実験を行いました。彼は、すぐに実験の setup に必要な技術を身につけ、データ習得に役立てました。その後、データ解析に移りデータ解析を開始いたしました。

この実験のコンセプトと実際の実験データと結果を解釈するための提唱されるモデルとの複雑な相互関係は彼にとって初めてのものであった。しかしながら、彼は一生懸命モデルの詳細と必要な数学的背景を理解しようとしました。彼はモデルの必要な部分を理解できるまでくわしく質問し続けました。彼は良い結果を得るために作業を進め、異なるパラメータ下での数回の測定での相互関係を我々に示しました。彼もまた最終的に満足のいく結果にたどり着き Quench が起きる磁場と測定の関係性を導きだしました。結果をまとめ、最終的なレポートも我々に提出いたしました。

始終彼は価値のある存在であることが判明した。我々と十にこの研究を行っている LANL の Alberto Canabal 氏と私にとって彼は効果的に協力してくれました。彼の熱心さと忍耐強さは彼の行ったすべての事柄からわかります。

我々は彼の研究や経歴がうまくいくように願っているし、疑いようもなくそうなるだろうと思っています。

Prof. Sami G. Tantawi

2008/04/11